

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年5月分:速報)



## <対世界>

- 輸出総額:8,216 億円(伸率: +9.4%) ⇒ 13か月連続のプラス
  - ・順位: 15位、5月としては1位
  - 【順位は、昭和 54(1979)年1月以降(533 か月、5月は 45 か月)による。以下同じ。】
  - ・増加品目:自動車(同 2.5 倍)、科学光学機器(同 2.5 倍)
- 輸入総額:9,813 億円(伸率:▲2.6%) ⇒ 28か月ぶりのマイナス
  - ・順位: 10位、5月としては2位
  - ・減少品目:石炭(同▲38.1%)、液化天然ガス(同▲31.0%)
- 差引額:▲1,597 億円(伸率:▲37.9%) ⇒ 2か月連続の輸入超過
  - ・順位:467 位、5月としては40位
  - 為替レート: 2023 年 5 月:135.31 円/ドル(2022 年 5 月:129.17 円/ドルと比べ 4.8%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

自動車(834 億円→2,088 億円、伸率:2.5 倍)は、アメリカ(144 億円→458 億円、同 3.2 倍)及びEU(36 億円→262 億円、同 7.3 倍)向けが増加し、4か月連続のプラスとなった。

また、科学光学機器(120 億円→304 億円、同 2.5 倍)は、韓国(71 億円→200 億円、同 2.8 倍)及び台湾(14 億円→38 億円、同 2.8 倍)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。

一方、船舶(265 億円→115 億円、同▲56.5%)は、マーシャル(80 億円→実績なし)及びリベリア(79 億円→実績なし)向けが減少し、3か月連続のマイナスとなった。

### ○輸入

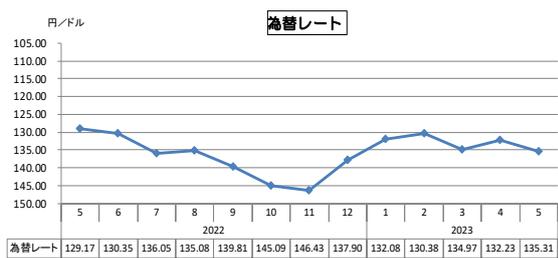
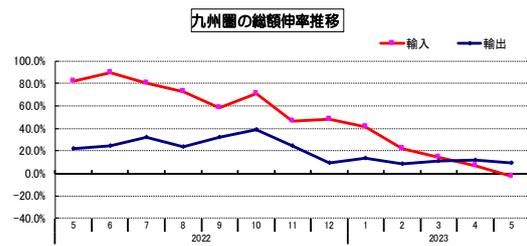
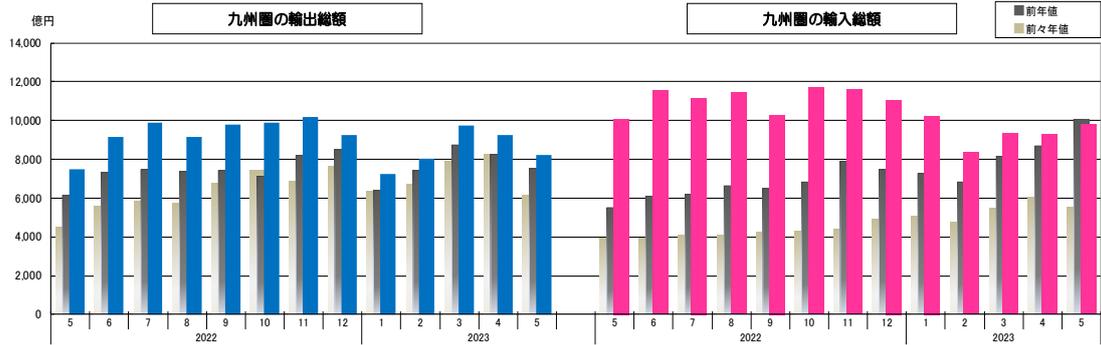
石炭(426 万 MT→299 万 MT、伸率:▲29.8%、1,708 億円→1,057 億円、同▲38.1%)は、数量、価額ともに減少し、24か月ぶりのマイナスとなった。

また、液化天然ガス(48 万 MT→33 万 MT、同▲31.5%、468 億円→323 億円、同▲31.0%)は、数量、価額ともに減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

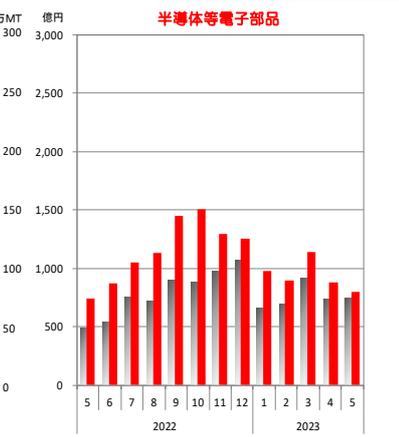
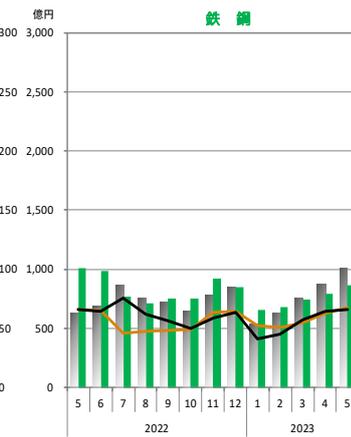
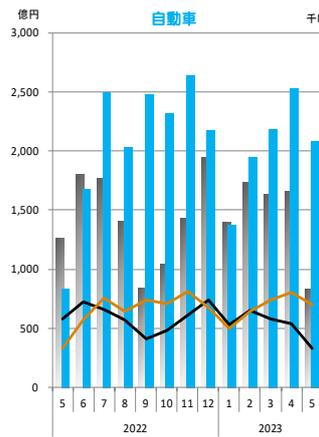
なお、原粗油(300 万 KL→358 万 KL、同+19.4%、2646 億円→2644 億円、同▲0.1%)は、数量は増加したものの、価額は減少し2か月連続のマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(388 億円→607 億円、同+56.4%)は、台湾(293 億円→540 億円、同+84.8%)及びEU(10 億円→14 億円、同+39.9%)からが増加し、27か月連続のプラスとなった。

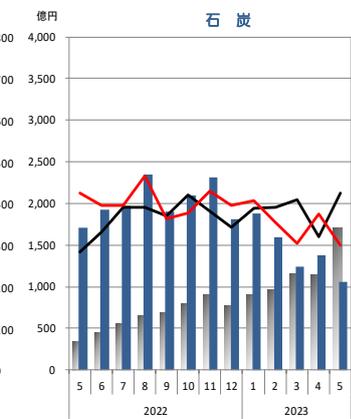
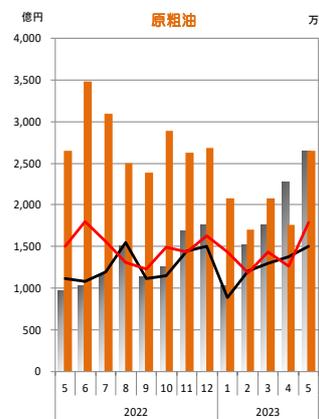
# 令和5年5月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。